

ジュリーの海&空



三豊市を舞台に撮影が行われた『ジュリーの海&空(うみとそら)』が11月26日(土)にマリンウェーブで公開されます



▲麻幼稚園園児と勝間小学校児童もエキストラで参加

監督・主演の2人にインタビュー



アナマ・ジュリー役
橋二三さん

ジュリーは親善大使でしたが、戦争が始まると手のひらを返される。戦争がいかに人の心を変えて悲劇をもたらすのか…。何が正しい情報なのか見極め、考えて行動することが大事ということを感じてもらいたい。自分の良心と信念を持つことが大事であることを映画を見て感じてほしい。



香川一平役
広瀬将太さん

三豊市の景色はほんとビックリするぐらいきれいなので、市民に見ていただいて、自分の町を自信を持って外に広めるために、この映画を使ってもらえたらうれしい。
詫間のスベリ(滑走台)も、悲しい場所ではない。あそこにごういうものがあったことを知った上で思いを巡らせてほしい。



村尾俊二監督

地域に根ざした郷土の歴史を見直して、みんながいろいろと考えられるような映画に仕上がったと思います。
戦争が引き裂いた日米夫婦の半生を通じて、風化させてはならない戦争を、この映画をきっかけにして、今一度、考えてほしい。

三豊市を舞台に撮影が行われた映画『ジュリーの海&空』
この映画は、昨年11月「さぬき映画祭2010」実行委員会が全国公募した第5回「香川をイメージする映像作品企画募集」において優秀企画(シナリオ)4作品の1つに選ばれた村尾俊二さんの作品を映像化したものです。
詫間海軍航空基地と青い目の人形
村尾さんは昨年8月に「三豊・観音寺の文化を育む会」が主催した「旧詫間海軍航空隊跡地巡りと仁尾町青い目の人形見学」に参加。その際、2つの大きな衝撃を受けてシナリオを書き始めました。
1つは、香川の地からも神風特攻隊が出撃したこと。太平洋戦争敗戦の年の4月以降、詫間海軍航空基地から神風特別攻撃隊の水上戦闘機が25機、沖縄周辺の米軍艦船に自爆するため飛び立ち、57人もの若者が散華したという歴史的事実。
もうひとつは、戦時下における日米国民の大きな対応差についてです。米国と日本との嫌悪な関係を憂慮した親日家の牧師が、全米各地に働きかけ、日本全国に親善大使として約1万3千体の青い目の人形を贈りま

した。その答礼として日本も58体の日本人形を米国に贈りました。しかし、太平洋戦争が始まると、青い目の人形は、米国のスパイとか憎しみの対象にされ、竹やりで突かれたり焼かれたりしました。香川県に贈られた108体のうち、ジュリー1体だけが難を逃れました。そのジュリーは、現在、仁尾の吉祥院で大切に保管されています。
舞台は昭和初期の仁尾
内容は、主人公の香川一平が日系2世のアナマ・ジュリーと出会い、結婚。幸せな家庭を築こうとした矢先に太平洋戦争が始まり、二人は離ればなれになる中で、日米の男女の愛と哀しみを通して、切ないながらも幸福感に浸る爽やかなヒューマンドラマです。



▲香川一平とジュリーの結婚式(財田町の鉾八幡神社)

▼問い合わせ 三豊市観光協会 ☎56・9121

さぬき映画祭2011

日程 11月26日(土)

場所 マリンウェーブ

有料映画(500円)

午前10時30分
「うまれる」

無料映画

三豊市を中心に県内で撮影された映画です

午後1時「ジュリーの海&空」

午後2時「さぬき巡礼ツアー」

午後3時「チンゲンサイの夏休み～青菜的暑假～」



チンゲンサイの夏休み～青菜的暑假～

▲問い合わせ マリンウェーブ ☎56-5111

▼問い合わせ
生涯学習課

☎62・1113



▲戦争体験者から当時の体験談や貴重な話を伺いに行きます

「太平洋戦争と三豊」体験談集策定委員
(敬称略 順不同)

- 増田 幸一(高瀬町)
- 藤田 昌示(〃)
- 近藤 行雄(山本町)
- 藤田 明美(三野町)
- 西村 忠臣(豊中町)
- 曾根 幸一(〃)
- 小林 静夫(詫間町)
- 真鍋 道弘(〃)
- 中井 良祐(仁尾町)
- 山崎 雅信(財田町)
- 和田 仁(学識経験者)
- 三谷 等(遺族会)
- 矢野 文雄(〃)

「太平洋戦争と三豊」というテーマで、太平洋戦争にかかわる体験談の発刊を計画しています。戦争を事実として残し、平和に寄与することを目的に作成するもので、皆さんから体験談を募集します。当時の体験談を文書でいただける人、または、お話しただけの人、または、お話しただけの人、または、お話しただけの人は生涯学習課までご連絡ください。体験談集策定委員がお伺いします。

太平洋戦争の体験談を募集しています